



2019年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年6月7日

上場会社名 株式会社理研グリーン 上場取引所 東
 コード番号 9992 URL <http://www.rikengreen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 等
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 石上 廣 (TEL) 03-6802-8301
 四半期報告書提出予定日 2019年6月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年10月期第2四半期の連結業績(2018年11月1日~2019年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第2四半期	5,893	△0.9	145	△18.7	161	△17.8	90	△52.6
2018年10月期第2四半期	5,947	—	178	—	197	—	191	—

(注) 包括利益 2019年10月期第2四半期 94百万円(14.8%) 2018年10月期第2四半期 82百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第2四半期	13.98	—
2018年10月期第2四半期	29.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年10月期第2四半期	11,454	6,843	58.0
2018年10月期	11,127	6,782	59.2

(参考) 自己資本 2019年10月期第2四半期 6,641百万円 2018年10月期 6,587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2019年10月期	—	0.00			
2019年10月期(予想)			—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年10月期の連結業績予想(2018年11月1日~2019年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,100	0.6	375	△28.5	394	△28.2	220	△50.1	33.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年10月期2Q	6,691,300株	2018年10月期	6,691,300株
2019年10月期2Q	199,681株	2018年10月期	199,681株
2019年10月期2Q	6,491,619株	2018年10月期2Q	6,491,620株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示変更について)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、堅調に推移した企業業績や雇用・所得環境の改善により、緩やかな景気回復基調が続いておりましたが、長期化する米中貿易摩擦等の海外経済情勢の不確実性の高まりもあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループをとりまく事業環境は、ゴルフ場業界ではプレー人口の減少等による経営の合理化、製紙業界では紙需要の減少による生産調整、また土木緑化工事業界では人材不足による労務費コストの上昇が続くなど、引き続き厳しい状況下にありました。

このような状況のもと、当社グループは、新規剤及び主力商品の拡販、販路の開拓及び技術サービスに徹した営業活動を積極的に推進するとともに、業務の効率化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5億9千3百万円（前年同期比0.9%減）となりました。利益面につきましては、営業利益は1億4千5百万円（前年同期比18.7%減）、経常利益は1億6千1百万円（前年同期比17.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9千万円（前年同期比52.6%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況については、以下のとおりであります。

〔緑化関連薬剤・資材事業〕

主要需要先であるゴルフ場業界は、ゴルフ場数の漸減とともに低料金化傾向に伴う経営合理化が進んでおります。当第2四半期は、主要剤である除草剤、「スパーダ顆粒水和剤」「アビシウムフロアブル」、抑草剤「ピオロックフロアブル」、「ショートキープ液剤」の販売が好調に推移しましたが、肥料等資材の販売が低調に推移しました。また、高速道路、鉄道等の緑地管理分野の薬剤販売は順調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は3億8千8百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は2億2千万円（前年同期比6.6%減）となりました。

〔産業用薬品事業〕

主要需要先である製紙業界は、ペーパーレス化が進み、紙需要の減少による生産調整が続いておりますが、当社が取り扱う家庭紙分野および板紙分野は堅調に推移しております。当第2四半期は、中古紙原料の製紙工程に主に使用する異物除去剤は低調に推移しましたが、ティッシュペーパーやトイレットペーパー等の家庭紙製造に使用される剥離・コーティング剤の販売が好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は9億2千万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は8千4百万円（前年同期比12.9%増）となりました。

〔土木緑化工事業〕

主要受注先である緑化工事業界は、環境・防災関連工事及び2020年東京オリンピック関連整備工事を中心とした公共工事は増加しておりますが、民間工事を含めて、受注競争は厳しい状況にありました。当第2四半期は、防災公園工事、住宅環境整備工事や道路の維持管理事業の受注獲得に努めました。完成工事高につきましては、公共工事は公園・住宅緑地改造工事、舗装改修工事等により増加しましたが、民間工事およびゴルフ場関連工事が減少しました。

この結果、当事業の売上高は8億7千9百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益は1千9百万円（前年同期比56.9%減）となりました。

〔その他〕

その他は、保険代理業・リース業及び食品添加物の販売などで、当事業の売上高は2億5百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は3千1百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は114億5千4百万円で、前連結会計年度末に比べ3億2千7百万円の増加となりました。

これは、流動資産が3億7千7百万円の増加、固定資産が5千万円の減少によるものです。

負債は46億1千1百万円で、前連結会計年度末に比べ2億6千6百万円の増加となりました。

これは、流動負債が3億3千万円の増加、固定負債が6千4百万円の減少によるものです。

純資産は68億4千3百万円で、前連結会計年度末に比べ6千万円の増加となりました。

この結果、自己資本比率は58.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から6千4百万円減少し、33億1千万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億4百万円の増加(前年同期間は4億3百万円の増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3千8百万円の減少(前年同期間は2億2千9百万円の増加)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億3千万円の減少(前年同期間は1億5千6百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月期の通期の連結業績予想につきましては、2018年12月14日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,376,420	3,311,858
受取手形及び売掛金	2,826,294	3,375,698
リース投資資産	165,663	160,107
商品及び製品	1,169,801	1,525,753
仕掛品	5,903	7,070
原材料及び貯蔵品	184,329	130,876
未成工事支出金	225,931	60,690
その他	298,966	64,890
貸倒引当金	△65,914	△71,589
流動資産合計	8,187,397	8,565,355
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,236,998	1,236,998
その他(純額)	560,919	545,340
有形固定資産合計	1,797,917	1,782,338
無形固定資産		
のれん	41,026	36,235
ソフトウェア	97,283	91,400
その他	8,877	5,171
無形固定資産合計	147,187	132,807
投資その他の資産		
投資有価証券	174,128	166,313
リース投資資産	226,196	215,470
ゴルフ会員権	217,697	216,535
その他	557,495	546,958
貸倒引当金	△180,765	△171,516
投資その他の資産合計	994,752	973,761
固定資産合計	2,939,857	2,888,907
資産合計	11,127,255	11,454,262

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,405,774	2,972,502
1年内返済予定の長期借入金	111,136	27,808
リース債務	164,576	156,463
未払法人税等	70,545	91,717
賞与引当金	187,489	172,900
その他	476,855	325,910
流動負債合計	3,416,376	3,747,301
固定負債		
リース債務	237,015	223,723
役員退職慰労引当金	110,425	80,053
退職給付に係る負債	531,905	511,220
その他	49,113	48,811
固定負債合計	928,460	863,808
負債合計	4,344,836	4,611,109
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,428	1,102,428
資本剰余金	1,328,851	1,328,851
利益剰余金	4,173,195	4,231,489
自己株式	△51,276	△51,276
株主資本合計	6,553,198	6,611,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,167	29,690
その他の包括利益累計額合計	34,167	29,690
非支配株主持分	195,051	201,970
純資産合計	6,782,418	6,843,153
負債純資産合計	11,127,255	11,454,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年11月1日 至2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年4月30日)
売上高	5,947,298	5,893,550
売上原価	4,433,902	4,380,048
売上総利益	1,513,395	1,513,502
販売費及び一般管理費	1,334,898	1,368,419
営業利益	178,496	145,082
営業外収益		
受取利息	488	544
受取配当金	8,274	4,864
受取賃貸料	4,459	4,772
雑収入	5,984	7,972
営業外収益合計	19,207	18,153
営業外費用		
支払利息	562	209
雑損失	128	1,044
営業外費用合計	690	1,254
経常利益	197,013	161,982
特別利益		
固定資産売却益	-	999
親会社株式売却益	129,083	-
保険解約返戻金	4,886	-
受取保険金	366	764
特別利益合計	134,337	1,764
特別損失		
固定資産廃棄損	0	802
ゴルフ会員権評価損	4,020	150
ゴルフ会員権売却損	1,240	-
特別損失合計	5,260	952
税金等調整前四半期純利益	326,091	162,795
法人税等	111,793	63,165
四半期純利益	214,297	99,630
非支配株主に帰属する四半期純利益	22,683	8,878
親会社株主に帰属する四半期純利益	191,614	90,751

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
四半期純利益	214,297	99,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132,245	△5,397
その他の包括利益合計	△132,245	△5,397
四半期包括利益	82,051	94,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,884	86,273
非支配株主に係る四半期包括利益	4,166	7,959

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年11月1日 至2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	326,091	162,795
減価償却費	35,984	54,415
のれん償却額	7,825	4,791
引当金の増減額(△は減少)	△49,862	△48,535
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,678	△20,685
受取利息及び受取配当金	△8,762	△5,408
支払利息	562	209
親会社株式売却損益(△は益)	△129,083	-
固定資産売却損益(△は益)	-	△999
固定資産廃棄損	-	802
保険解約返戻金	△4,886	-
売上債権の増減額(△は増加)	△681,463	△647,635
たな卸資産の増減額(△は増加)	236,647	△138,423
仕入債務の増減額(△は減少)	558,475	566,728
未払消費税等の増減額(△は減少)	33,701	3,157
その他	196,507	213,853
小計	537,415	145,064
利息及び配当金の受取額	8,762	5,408
利息の支払額	△562	△209
法人税等の支払額	△142,321	△46,241
営業活動によるキャッシュ・フロー	403,294	104,022
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△30,600	△600
有形固定資産の取得による支出	△28,839	△31,418
有形固定資産の売却による収入	-	1,000
投資有価証券の取得による支出	△175	△167
親会社株式の売却による収入	339,714	-
無形固定資産の取得による支出	△62,300	△18,669
その他	11,356	11,570
投資活動によるキャッシュ・フロー	229,157	△38,285
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△12,987	△13,680
長期借入金の返済による支出	△111,102	△83,328
配当金の支払額	△32,185	△33,291
自己株式の取得による支出	△155	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156,430	△130,300
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	476,021	△64,562
現金及び現金同等物の期首残高	2,520,064	3,375,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,996,086	3,310,858

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	緑化関連 薬剤・ 資材事業 (千円)	産業用薬品 事業 (千円)	土木緑化 工事業 (千円)	その他 (千円) (注)1	調整額 (千円) (注)2	四半期連 結損益計 算書 (千円) (注)3
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,892,589	909,967	939,557	205,183	—	5,947,298
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,957	—	—	10,810	△17,768	—
計	3,899,546	909,967	939,557	215,994	△17,768	5,947,298
セグメント利益	236,218	74,833	44,051	34,890	△211,497	178,496

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業・リース業及び食品添加物の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△211,497千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	緑化関連 薬剤・ 資材事業 (千円)	産業用薬品 事業 (千円)	土木緑化 工事業 (千円)	その他 (千円) (注)1	調整額 (千円) (注)2	四半期連 結損益計 算書 (千円) (注)3
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,888,324	920,466	879,424	205,334	—	5,893,550
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,429	—	1,450	11,830	△17,709	—
計	3,892,753	920,466	880,874	217,164	△17,709	5,893,550
セグメント利益	220,707	84,454	19,003	31,998	△211,081	145,082

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業・リース業及び食品添加物の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△211,081千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。